

アパ社長カレー 累計 1,500 万食を突破 特別デザインパッケージが数量限定で登場

アパホテルネットワークとして全国最大の1,148ホテル148,077室(建築・設計中・海外、アパ直参画ホテルを含む)を展開するアパホテル株式会社(本社:東京都港区赤坂3-2-3、社長:元谷 芙美子)が販売しているプライベート商品のアパ社長カレーが、本年4月に累計1,500万食を突破いたしました。



本年4月にアパ社長カレーが累計1,500万食突破した件と、アパグループが本年5月10日に創業55周年を迎えることを記念し、特別なデザインパッケージのアパ社長カレーが数量限定で発売開始されます。

■発売情報

商品名 : アパ社長カレー 55周年パッケージ
販売開始時期 : 2026年5月下旬予定
※予定が前後する可能性があります。
アパ社長カレー 特設サイト内記載の、販売サイトにて最新情報をご確認ください。
販売価格 : 500円(税込)
販売場所 : アパ社長カレー 特設サイトをご確認ください。

「アパ社長カレー」 特設サイト: <https://www.apahotel.com/curry/>

注意事項 : 数量限定販売の為、予告なしに終売となる可能性があります。
予めご了承ください。

【「アパ社長カレー」の防災との関係】

アパ社長カレーの販売開始は2011年4月で、東日本大震災の直後ということもあり、3月23日に最初に作った約3,000食を宮城県の救援物資集積所（消防学校）に送り、非常に喜ばれ、生きる望みにつながった等のお言葉をもらうなど、深く社会貢献活動にかかわっています。一般財団法人日本赤十字社主催の、東日本大震災を風化させないことを目的とした「私たちは、忘れない。」プロジェクトに、グループとして参画をしています。また、全国のアパグループ事業所において毎年団体献血を複数回実施し、その際も採血者へアパ社長カレーをプレゼントし、社会貢献活動に役立てています。

またアパ社長カレーは、常温保存で賞味期限が2年間と長く、全国のアパホテルフロントで販売しているアパ社長カレー自体が、自然災害が起き物流が途絶えた際の防災備蓄であり、宿泊客の生命をお守りする一助となっています。2018年に起こった西日本豪雨の被災地にも1万食寄付、防災備蓄として購入される方も増えており、近年ではアパ社長カレーの個食レトルトや業務用を仕入れ店舗・レストラン等で提供する企業も増えてきています。

【「アパ社長カレー」とは】

アパホテルのレストランにて味を追求した結果、選び抜いたオリジナルスパイスとまろやかなソースを贅沢に使い、じっくり煮込んだ牛肉と野菜の自然な甘みを引き出した本格派ビーフカレー。アパグループの発祥地である金沢のご当地名物「金沢カレー」をイメージし、カレー本来の味を引き出しているためキャベツを添えてお召し上がりいただくとも美味しさが増す。2011年3月24日「アパ社長カレー」発表会にて、お客様による試食後のアンケート結果99.3%の人が「美味しい」と回答。箱入り個食の他に飲食店で使用する業務用も販売しています。2021年3月に販売開始10周年を迎え、2026年4月には累計1,500万食を達成しています。

【アパグループ】

アパホテルネットワークとして全国最大の1,148ホテル148,077室(建築・設計中、海外、アパ直参画ホテルを含む)を展開している。2022年4月より始動した5ヶ年計画「AIM5～APA Innovative Movement」の目標について前倒しで達成の目途が立ったことを受け、2026年4月に新中期5ヶ年計画「AIM5-II」を始動。2031年3月末までに国内自社ブランド単独10万室を目標とするほか、ホテル分野におけるプラットフォーム事業やマルチ・ブランド化、海外事業に関しては北米事業の強化および次期戦略エリアの模索を推進する。

■お問い合わせ先 ※写真データ等必要な場合はメールにて送信します。

アパグループ東京本社 社長室

住所:東京都港区赤坂3-2-6

電話:03-5570-2131

E-Mail:kouhou@apa.co.jp URL:www.apa.co.jp